

九州国際大学研究者情報

基本情報

所属	現代ビジネス学部 国際社会学科	氏名	松井 貴英 Matsui Takahide
職名	教授	E-mail	t-matsui@cb.kiu.ac.jp
		ホームページ	

■ 学歴・取得学位

2000(平成12)年4月	名古屋大学大学院文学研究科博士後期課程人文学 専攻入学
2004(平成16)年3月	名古屋大学大学院文学研究科博士後期課程人文学 専攻 単位取得満期退学
2006(平成18)年3月	博士(文学)学位取得(課程博士) (名古屋大学(文学)第190号)

■ 主な職歴

2008(平成20)年9月	名古屋外国語大学非常勤講師
2009(平成21)年4月	名古屋工業大学非常勤講師

教育活動

■ 主な担当授業科目

<input type="radio"/> 学部：哲学、倫理学
<input type="radio"/> 大学院：

■ 教育上の特記事項

<input type="radio"/> 教科書・教材：『フランス・バカロレア式 書く！ 哲学入門』（ナカニシヤ出版）（共著）、本学部における初年次教育用共通テキスト『マナビのトビラ』執筆・作成
<input type="radio"/> 教育活動：企業探求プログラムの実践、初年次教育の実践、ビブリオバトルの初年次教育への活用
<input type="radio"/> 免許・資格：

研究活動

■ 研究分野

研究分野	古代ギリシャ哲学、応用倫理、応用哲学
主な研究テーマ	プラトンの認識論、建築の哲学、都市の持続可能性、デフスタディーズ 等
キーワード	想起説、風景としての建築、ストック型社会、デフスタディーズ、劇画

■ 主な著書・論文等

著書
○ (共)『フランス・バカロレア式 書く！ 哲学入門』(ナカニシヤ出版、2021年3月)
論文
○ (単)「徳を教えることについて——プラトン『メノン』におけるソクラテスとアニュトスとの対話」(九州国際大学『教養研究』第22巻第3号 2016年2月 pp.55-71)
○ (単)「持続可能な社会とストック型社会再考」(『九州国際大学 国際・経済論集』創刊号、2018年3月、pp.133-148)
○ (単)「プラトン『パイドン』における死の練習と哲学探求について」(『名古屋大学哲学論集 田村均先生ご退職記念特別号』2018年4月、pp.143-156)
○ (単)「ろう文化と異文化理解としてのデフ・スタディーズ——哲学的観点から」(『中部哲学会年報』49号、2018年4月、pp.1-12)
○ (単)「映画の「劇画」——1956年の辰巳ヨシヒロ」(『九州国際大学 国際・経済論集』第3号、2019年3月、pp.1-24)
○ (単)「プラトンと語り——『ティマイオス』を中心に」(『名古屋大学哲学論集 金山弥平先生ご退職記念特別号』、2020年4月、235-248頁)
○ (単)「辰巳ヨシヒロは「劇画」で何を表現したか——『黒い吹雪』における「よるべのなさ」」(『九州国際大学 国際・経済論集』第7号、2021年3月、pp.15-39)
○ (単)「プラトン『テアイテトス』における数学と哲学」(『名大哲学論集 宮原勇先生ご退職記念特別号』2021年4月、pp.203-219)
○ (単)「藤子・F・不二雄による“劇画”——「劇画・オバQ」の解釈の試み」(『九州国際大学 国際・経済論集』第11号、2023年3月、pp.35-64)
学会発表
○ (単)「哲学対話の現代的意義」(シンポジウム「現代における対話の可能性」の提題者の一人として)(2016年、中部哲学会)
○ (共) ” The Political Suggestion: Necessity of Change from 'Flow-Type Society' to 'Stock-Type Society' in Japan for Sustainable life of Next Generation” (poster session) (2016, September, The International Society for Industrial Ecology (ISIE) joint 12th Socio-Economic Metabolism section conference and 5th Asia Pacific conference)
○ (単) ” To think deeply about Sustainable Society and Environment : Moral Philosophy, Ethics and Education for Realizing SEM and Material Stock Style Society and Sustainable Society” (oral session) (2016, September, The International Society for Industrial Ecology (ISIE) joint 12th Socio-Economic Metabolism section conference and 5th Asia Pacific conference)
○ (単)「プラトンにおける想起と数学——『テアイテトス』第二部の検討を中心に」(西日本哲学会第70回大会、2019年11月30日)
○ (単)「2024年のジオラマボーイ・パノラマガール」(シンポジウム「折れやすさを哲学する」の提題者の一人として)(2024年9月21日、中部哲学会)
その他

■ 大学就任以前の主な業務上の実績

	特になし
--	------

■ 主な所属学会

日本哲学会、日本西洋古典学会、応用哲学会、中部哲学会、西日本哲学会、ギリシャ哲学セミナー、名古屋大学哲学会

■ 受賞等

()年 月	特になし
--------	------

■ 研究助成金による研究

○
○

社会における活動等

- 「2050年の八幡東区の描き方を考えるフォーラム」(2018年11月10日、共催：北九州市、後援：内閣府地方創生推進事務局)の開催と運営と司会
- 「2050年の八幡東区を描こう ワークショップ」の開催と運営と司会(2018年11月17日、12月8日、12月15日の三回、共催：北九州市、後援：内閣府地方創生推進事務局)の開催と運営とファシリテーターと司会
- 「2050年の八幡東区をカタチにする ワークショップ&発表会」(2019年1月26日、2月16日、3月2日の三回、共催：北九州市、内閣府地方創生推進事務局)の開催と運営とファシリテーターと司会
- 「2050年の八幡東区をカタチにする 発表会」(2019年3月16日、共催：北九州市、内閣府地方創生推進事務局)の開催と運営と司会
- 「考えよう！ わがまち 今とこれから」(2019年11月16日、30日 於平野市民センター)のファシリテーター(16日のみ)、共同運営、方向性等の指導
- 「哲学的に物事をみる」(2022年12月8日 北九州市民カレッジ 大学連携リレー講座「私を変える小さな習慣「日々の積み重ねで人生を豊かに」」第3回)
- 「松本零士とその時代」(全2回シリーズ 2023年8月18日、9月22日 北九州文学サロン「北九州みんなのまなび広場 in 京町」)(1)「漫画は戦争をどのように描いてきたか」(2)「松本零士と少年期」
- 「漫画を通して時代を読み解く——戦後漫画を10倍楽しく読む方法」(全5回 2024年2月5日～3月11日 北九州市民カレッジ)
- 「多文化共生の実践のために」(2024年3月19日 シニアカレッジ(穴生学舎)リレー講座のうちの1回)
- 「松本零士とその時代」(全2回シリーズ 2023年の北九州文学サロンでの講座のアップデート版)(1)「少年漫画は戦争をどのように描いてきたか」(2)「漫画が描く「こども」」(2024年9月4日、11日)

大学運営活動等

- 教務委員会(2011年10月～2014年8月、2012年4月から2014年8月まで代表教務委員)
- 教務部長(2014年9月～2016年8月)
- 就職・進路部長(2016年9月～2017年3月)
- 国際関係学部副学部長(2017年1月～2018年3月)

- 現代ビジネス学部副学部長（2017年4月～2018年3月）
- 図書館長（2018年4月～2020年8月）
- 教育情報ネットワークセンター長（2018年4月～2019年3月）
- 基礎教育センター長（2018年6月～）
- 教務部長（2020年9月～2022年8月）